

## 安全データシート

作成日: 2015/03/01

改訂日: 2016/06/01

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: しゅう酸ナトリウム  
会社名: 高杉製薬株式会社  
住所: 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617  
電話番号: 092-621-1231  
FAX番号: 092-621-6269

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A  
GHSラベル要素:



注意喚起語: 警告  
危険有害性情報: 強い眼刺激

注意書き: [安全対策]  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ただちに医師に連絡し指示を仰ぐこと。  
漏出物を回収すること。

[廃棄]  
内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分: 単一製品  
化学名: しゅう酸ナトリウム  
濃度又は濃度範囲(含有量): 99.5%以上  
化学特性(化学式): (COONa)<sub>2</sub>  
分子量: 134  
官報公示整理番号: 2-922  
(化審法・安衛法)  
CAS No.: 62-76-0  
危険有害成分: しゅう酸ナトリウム

## 4. 応急措置

吸入した場合: 鼻をかみ、重曹水でうがいさせ、新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努め、医師の手当を受ける。  
皮膚に付着した場合: 多量の水及び石鹼で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。  
眼に入った場合: 清浄な水で最低15分以上洗眼したのち、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗浄する。  
飲み込んだ場合: 多量の牛乳を飲ませて、吐かせ、安静保温に努めて、直ちに医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤：	水、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂
火災時の特有危険有害性：	火災時に刺激性又は有毒なヒューム(もしくはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法：	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護：	消火活動は風上から行き、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和：	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。こぼした場所は、ウエス、雑巾等で拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	強酸化剤との接触を避ける。
注意事項：	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉じんや蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する
安全取扱い注意事項：	吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
保管	
安全な保管条件：	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。施錠して保管すること。
技術的対策：	涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
混触禁止物質：	酸化剤及び酸化性の強い物質との保管は避ける。
安全な容器包装材料：	ポリエチレン、ガラス

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 作業環境評価基準： 許容濃度	設定されていない
OSHA PEL：	設定されていない(参考 シュウ酸 air TWA 1mg/m <sup>3</sup> )
ACGIH TLV(s)：	設定されていない(参考 シュウ酸 TWA 1mg/m <sup>3</sup> , STEL 2mg/m <sup>3</sup> )
日本産業衛生学会：	設定されていない
設備対策：	粉じんが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。  取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
保護具	
呼吸器の保護具：	防じんマスク、(火災時:空気呼吸器)
手の保護具：	保護手袋
眼の保護具：	保護眼鏡、側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具：	保護衣、保護長靴
適切な衛生対策：	マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状, 色:	無色の結晶又は白色の結晶性粉末
臭い:	無臭
pH:	データなし
融点:	250~270°C
沸点(初留点):	データなし
引火点:	データなし
自然発火温度:	データなし
爆発範囲(上限・下限):	データなし
蒸気圧:	データなし
比重:	2.27
溶解度	
溶媒に対する溶解性:	水に可溶(27倍の水, 16倍の沸騰水に可溶)、アルコール、エーテルに不溶。
分解温度:	400°C以上
n-オクタノール/水分配係数 log Po/w:	データなし
分解温度:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性:	安定。還元性がある。400°C以上に加熱すると炭酸ナトリウムと一酸化炭素に分解する。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	日光、熱、湿気
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	炭酸ナトリウム、一酸化炭素

## 11. 有害性情報

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ECETOC TR48(2)(1998)のウサギの試験では、最終観察日である処置後14日目において3匹中2匹はほぼ回復したものの、残る1匹にはあまり回復がみられなかった。処置後21日目における回復具合のデータはないが、処置後24、48、72時間目のドレイズスコアの平均値及び処置後7日目において3匹とも完全な回復はみられなかった。

## 12. 環境影響情報

参考:しゅう酸として

生態毒性	
魚毒性:	データなし
残留性/分解性:	分解度: 37 % by BOD(経産省既存化学物質安全性点検)
生体蓄積性:	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	<p>焼却法 スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。 これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。 廃棄においては関連法規及び地方自治体の条例に従うこと。 上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理委託する。</p>
汚染容器及び包装:	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号:	非該当
品名:	非該当
国連分類:	非該当
容器等級:	非該当
海洋汚染物質:	非該当
注意事項:	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

消防法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	劇物（指定令第2条, 政令番号62, 砒酸塩類及びこれを含有する製剤。ただし、砒酸として10%以下を含有するものを除く。）
労働安全衛生法：	非該当
船舶安全法：	危規則第2条危険物等級6.1毒物(正6.1容器等級3)
航空法：	施行規則第194条危険物毒物(M等級3)
化学物質管理促進法(PRTR法)：	非該当
外国為替及び外国貿易法：	輸出貿易管理令別表第1の16の項【HS2814】

## 16. その他の情報

## 引用文献：

- 1.毒劇物基準関係通知集、改訂増補版 厚生省薬務局安全課監修 薬務広報社(1991).
- 2.産業中毒便覧 後藤稔 他編 医歯薬出版(株)(1977)
- 3.化学大辞典 共立出版(1993)
- 4.Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM(2003)
- 5.The Merck Index 13th Edition Merck&Co.Inc(2001)
- 6.15911の化学商品 化学工業日報社(2011)
- 7.製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>
- 8.増補新販 化学品安全管理データブック 化学工業日報社(1996)
9. 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース(株)

この安全データシートは、各種の文献等に基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありません。また、作成の時点における知見によるものです。注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な条件下で使用する場合は、その環境に応じて安全対策を講じてください。含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証もするものではありません。